

第5学年 学級活動（1）指導案

2024年11月8日（金） 2校時

指導者 教諭 松崎 裕治

場所 5年教室

- 1 議題「新1年生に送るビデオレターの内容を決めよう。」
学級活動（1）ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

- 2 議題について
（1）児童の実態

個人情報保護のため省略

- （2）議題選定の理由

本校では例年3学期に5年生が幼稚園の園児(新1年生)と交流する活動を設定している。一緒に遊んだり、給食を食べたりすることで、新リーダーとしての自覚をもったり、新入生に安心して小学校に入学したりすることをねらいとしている。

本議題は、この新1年生との交流に向けた取り組みの一つとして設定したものである。新1年生に向けて紹介動画を作成することは、自分や自分たちの学級を肯定的に捉え直すことや、来年度のリーダーに向けて高学年としての意識を高めることにつながると考えている。5年生にとって「〇〇のために」という意識は継続的な活動への意欲や自己有用感の伸長につながる。また、学級全員で一つのものをつくり上げる経験を通して、集団への意識を高め、友達とかかわりながら活動する喜びを感じることができると考えている。

達成感や満足感を共有することで、協力してよりよい人間関係を築き、自分たちの力でよりよい学級・学校生活をつくっていかうとする自治的能力を育てていきたいと考える。

ビデオの作成は、今回が2度目になる。前回は9月に同じ中学校区の5年生に自分たちの学級を紹介するための動画を作成した。同月に行われた合同宿泊研修会に向け、自分たちの事を知ってもらうことで、より積極的なかかわりができると考え設定した。

2回目のビデオ作りとなる今回は、前回の振り返りを生かし、もっと良い動画を作ろうと働きかけることで、よりよく工夫したり、上手にしたりすることにこだわらなくても良いことを感じられる活動にしていきたい。

- （3）本校研究とのかかわり

○人とかかわるよさを感じられる話合い活動

昨年度までの話合い活動の実践を通して、自分たちの手で話合いを進められるようにはなってきた。しかし、友達との間で話合いを深めたり、主体的な話合いをつくり上げたりする点において課題がみられた。話合い活動において、児童が主体的に話合いに参加するためには、児童自身が能動的に働きかけ、その結果を肯定的に評価した経験が必要だと考えた。

そこで本年度は「よい話し合い」のイメージを学習の積み重ねの中で、児童と共につくり上げる活動を取り入れた。

話し合い活動の終末場面において話し合いの良さについて相互評価し、それらを分類・整理する活動を行ない、学級全体で共有する。それらの活動を通して児童一人一人が自分に合っためあてを設定することができ、話し合いの経験を重ねるごとに話し合いの質を高められると考える。また、それらの活動自体が学級文化の醸成や児童の主体性の土台となる自己肯定感の伸長につながると考える。

また、指導者が予めよりよい話し合いのイメージをもっておくことは、話し合い活動の場での積極的・段階的な評価言につながると考える。本時では終末の場で自己評価と相互評価のできる時間を確保する。小グループの中で、本時の話し合いの中で友達のよかった取り組みについて付箋に書き、交換する。それにより、自分の成長や他者の成長、話し合いにおける学級の成長などについて気づけるようにしたい。それらの活動を通して、他者とのかかわりの中で考えたり、物事を決めたりすることに対して前向きな気持ちを育てたいと考えている。

本時の中で児童が見つけた「よりよい話し合い」の姿についても学級で共有することで、今後の話し合い活動に生かせるようにしていきたい。

3 第5学年及び第6学年の評価規準【(1)学級や学校における生活づくりへの参加】

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の仕方を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4 事前の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
月 日 () 昼休み	・活動計画を作成する。 (提案理由、話し合いのめあて、話し合うこと、決まっていること等を確認する。) ・学級会の進行の仕方を確認する。 (計画係)	・実態を踏まえ、日時や場所などの条件を「決まっていること」として教師が設定する。 ・提案者の思いや願いが学級全体の問題になるように、提案理由をしっかりと深めるようにする。	◎計画系の役割、交流会に向けた話し合いの進行の仕方を理解している。 【知識・技能】〈活動計画、観察〉

月 日 () 帰りの会	・学級会ノートに自分の考えを記入する。 (学級全員)	・話し合うことや決まっていることが、共通理解できるように助言する。 ・提案理由をふまえた自分の考えを記入できるようにする。	◎目的にあった意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。 【思考・判断・表現】 〈学級会ノート〉
月 日 () 昼休み	・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理し短冊に記入する。 (計画係)	・出された意見から話合いの見通しがもてるように助言する。 ・学級会がスムーズに進行できるように、必要に応じて短冊に記入するよう助言する。	

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

相手意識(新一年生)をもって、自分たちのよさが伝わるビデオレターの内容を決めることができる。

(2) 児童の活動計画(資料①)

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
1 はじめの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由や話合いのめあての確認	<ul style="list-style-type: none"> ・個々がめあてをもつことで全員でよりよい話合いをつくろうとする意欲をもって臨めるようにする。 ・議題「新1年生に送るビデオレターの内容を決めよう。」を確認する。 ・提案者の思いや願いを全員で共有し、解決すべき問題であることを確認する。 <p>話合いのめあて</p> <p>「それぞれの考えの良さを生かして、みんな考えをつくろう。」</p>	
5 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・決まっていることを確認する。 <p>期日 時間</p>	
6 教師の話	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の見聞き、対話的(関連付けて)話すことを大切にすることを伝える。 	

<p>7 話し合い 話し合うこと① 「どんなことに取り組むか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合うこと①は、「くらべ合う」段階から進められるように、事前に短冊に記入し、提示しておくよう指導する。 ・意見を視覚的に整理できるように、利点と問題点についてまとめるよう示唆する。 ・司会が進行に困った時は方向性を示唆する。 ・自治的活動の範囲を越えそうな場合は、必要に応じて助言する。 ・友達の意見を受け、関連付けたり考えを整理したりする発言に対し積極的に評価し、話し合うことの良さを感じられるようにする。 	<p>◎これまでの経験や、学級の目指す姿をもとに話したり、友だちの意見のよさをいかしたりして、取り組みの内容について考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発言を聞いて、具体的な場面を考えて話している。 ・「心配なこと」から解決策を考えている。 ・友達の発言を関連付けたり、整理したりする発言をしている。
<p>話し合うこと② 「取り組みの工夫や問題点の解決策」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合うこと②は、日常的に行うこと、集会などのイベントに分けて考えられるように助言する。 	<p>◎改善の具体的な方法として内容は何がよいか、根拠を明確にしながら発言したり、友だちの意見と比べて聞いたりしている。</p>
<p>8 決まったことの発表 9 振り返り</p>		<p>【思考・判断・表現】 〈発言・観察〉</p>
<p>10 先生の話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よかった点や議題について自己評価し、友達の意見について発言できたなどについても相互評価できるように、グループごとに付箋に書くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を聞いて、改善点について考えていてよかった。 ・友達の考えから新しいアイデアをだしていた。
<p>11 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・終末の助言では、①話し合えたこと自体への価値付けや合意形成したことへの価値付け②今後の課題、③計画係へのねぎらい、④今後の見通しや実践へ向けての意欲付け等について簡潔に述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を整理して発言していたところがよかった。

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
月 日 () 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを掲示する。 ・役割分担をする。 ・個人のめあての設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決まったことの要点をまとめて書くよう計画チームに助言する。 ・これまでの経験をもとに必要な係などについて事前に短冊を用意しておき、新たに必要な係について話し合う。分担する。 	◎個々のめあてや学級のめあてを意識して、友だちと協力して取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 〈学級会ノート、観察〉
月 日 ()	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに計画を立てて、協力して準備する。 ・帰りの会などで係ごとに経過報告を行ったり、お知らせを伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループは複数名で担当し、全員で協力して活動できるようにする。 ・準備の進捗状況を途中で確認し、活動意欲の継続化を図る。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返る。 (日常的な取り組みについては1週間を目安に、個人と学級全体の視点から振り返る) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の態度を振り返るとともにめあてに基づいた振り返りを行い、自分の役割を果たすことや友だちのよかったところについても認められるように助言する。 	◎取り組みの成果と課題を振り返り、自他のがんばりに気付いたり、次の活動にいかそうとしたりしている。 【主体的態度】〈学級会ノート、観察〉